

「投資のヒント」満載

市場の動きリアルに速報

「今」が読めるA4版電子新聞



リアルさを追求した「日刊株式経済新聞」が創刊される。その日の株式相場の分析をはじめ、個別銘柄の変動の背景、市場の話題、そして注目銘柄まで独自の切り口で証券市場の「今」が読めるA4版電子新聞だ。情報メディアの多様化やマーケット環境に対応、機動性と速報性を兼ね備えた、いままでにない新しいタイプの株式専門紙となる。

注目の個別銘柄を 素早くフォロー

日刊株式経済新聞が創刊

独自の切り口でニュースを発信

株式にっぽんが進化——。創刊から50年という伝統ある情報誌が「日刊株式経済新聞」に生まれ変わる。激動するマーケットに対応するため、新たにA4版電子新聞という形でよりスピーディーに株式市場の動きを伝える。

「日刊株式経済新聞」は、その日のマーケットで話題となった個別銘柄の動きやテーマを中心に市場第一線の記者が鋭く

決る。また、明日の投資のヒントとなる情報も満載。市場関係者の声や「旬」なテーマの関連銘柄

柄まで幅広くフォローする。毎日掲載される記者による注目銘柄も魅力的なメニューだ。市場全体の動きから個人投資家の予想までもカバーし、リアルさを追求した、まったく新しい株式専門紙となる。



個別銘柄情報が満載の紙面

購読料は1カ月1,500円 毎日午後7時ごろ発行

日刊株式経済新聞は購読料1カ月1500円(税別)でお読みいただけます。A4版(PDF)ですのでパソコンはもちろんタブレット端末でもスムーズにご覧いただけます。毎日(土日、祝日、年末年始除く)午後7時ごろ発行、会社帰りなどその日のうちにマーケットの動きがチェックできます。新たな情報源としてお役立て下さい。

〈閲覧方法〉パソコンなどで本紙ホームページにアクセスしていただき、登録されたID・パスワードでログインしダウンロードしてご覧いただけます。



ユニークな企画やエッセー、占いなどのメニューも豊富

【お問い合わせ】みんかぶマガジン社
〒108-0022 東京都港区海岸3-20-20
ヨコソーレインボータワー12階
本社販売部 ☎(03) 6852-8034 FAX (03) 6852-8037

いま強み発揮する



存在感強めるソフトバンク、孫社長の次なる戦略は？

円相場も含めて外部環境が不透明さを増す相場環境では、外需による変動にさらされないディフェンシブ銘柄、安定した成長が見込める好業績銘柄への関心が強まっている。こうした条件を満たすものとして、過去最高益更新予想銘柄がある。なかでも、利益規模で存在感を示しているのが、ソフトバンク（9984）だ。

尖閣諸島の領有権を巡る日中の関係悪化で経済面でのマイナス影響が深刻化している。また、中国経済自体の減速や欧州債務問題の先行き懸念の高まりなど、外部環境に不透明感が増す中で、株式市場では手控えムードが一段と広がっている。こうした中、よりどころとなるのが安定した業績の成長性だ。改めて最高益更新予想銘柄に注目してみたい。

ソフトバンク「iPhone」で圧倒

最高益更新銘柄に照準

日経平均株価 8746 円 87 銭

前日比 ▼39 円 18 銭

TOPIX 727.39 前日比 ▼3.80

スタートトゥーは35%増益

もしもは総選挙で上乘せも

【1面から続く】
ソフトバンクの13年3月期の連結営業利益は7300億円(前期比8・

1%増)を見込んでいる。収益牽引役の携帯電話は、iPhoneシリーズを軸に契約数の増加で

は同業他社を圧倒している。プラチナバンド設備投資による償却500億円増をこなして、営業益は増益継続。

するスタートトゥー(3092)の営業利益は、104億円(前期比35%増)の大幅増益を見込んでいる。

デー・エヌ・エー(2432)は「コンプガチャ」廃止のマイナス影響を跳ね返す成長を持

のコールセンター需要が上乘せされる。リフォーム需要が継続する住設機器のタカラスタンダード(7981)、生活防衛関連消費の牛



好業績銘柄に注目が集まる

景気の好不況に左右されず成長しているのがSNS(交流サイト)、ネット通販、ゲーム関連など業界だ。アパレル専門ネット通販の「ZOTOWN」を運営

ファーストリテイリング(9983)が反発

ファーストリテが反発

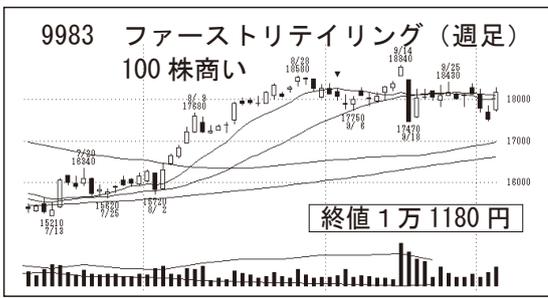
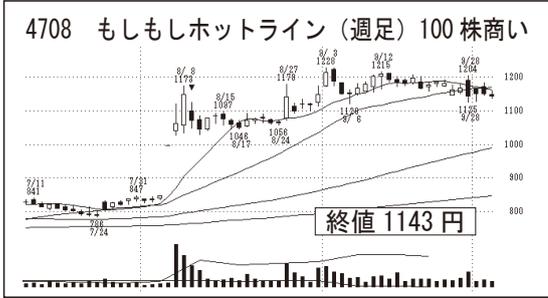
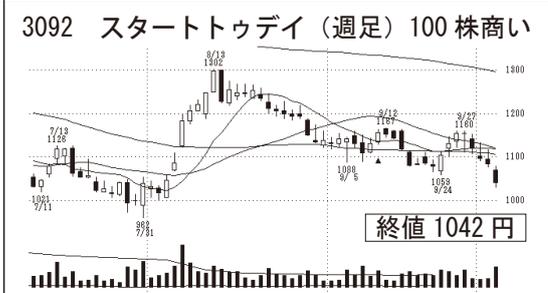
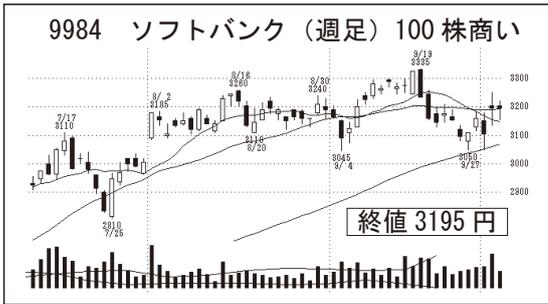
買い進まれ上昇率3%上回る

ファーストリテイリング(9983)が反発
1万8300円まで買い進まれ、上昇率は3%を上回った。

初めて売上高1兆円を超える」と報じたことで改めて成長性が評価されており、中国問題による直近下げの調整一巡感から押し目買いが優勢になっている。

3日付の日本経済新聞朝刊が「アパレル業界で

ただ、今8月期連結売上高1兆円台乗せは市場のコンセンサス



で、前日取引終了後に発表した9月の国内既存店売上高が前年同月に比べやや伸び悩んだことが気にされており、1万8000円台に乗せてからはこう着状態が続いている。

石油資源が急騰

シェールオイル採取に成功

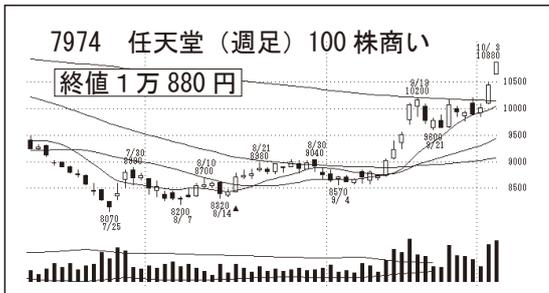
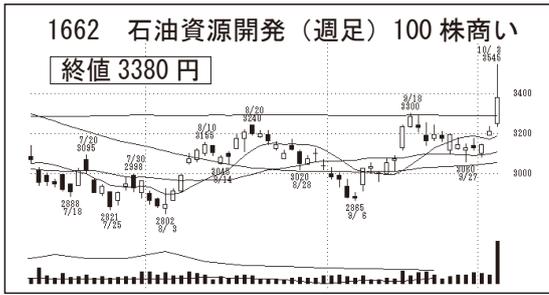
石油資源開発(1662)が急騰、秋田県でシェールオイル採取に成功したことが伝えられたことで一気に買い気配が強まり、一時、前日比335円高の3545円まで買い進まれ、値上がり率上位に顔を出した。

すでに試掘していた鮎川油ガス田の油井で、深さ約1800メートルにある岩

任天堂3連騰、新型ゲーム機に期待感

任天堂(7974)が3連騰、1万880円まで買われ高値引けとなった。

欧州債務問題への不安心理の後退を反映して、足元の円相場は対ユーロで100円80〜90銭の動きと円安水準のみみ合いとなっており、輸出採算の改善を評価する動きとなっている。また、引き



続き12月に発売が予定される新型ゲーム機「Wii U」への期待が買いの背景にあるようだ。

株価は9月12日以降、底値離脱の動きを鮮明にしており、きょうの高値まで24%強の上昇を示している。

JALが安い、制度信用スタートで思惑売り



朝方には、前日比120円安の3500円まで売られ、上場時のブックビルディング仮条件下限水準まで下落したが、その後は下げ幅を縮め、ここから売り込む動きは見られない。

JAL(9201)が安い。貸借銘柄に採用され、きょうの取引から制度信用による売りがスタートしたが、日中関係の悪化で旅客需要減退が懸念され、信用売りが膨らむとの思惑が売りを呼んだ。

日本で最も投資家が集まる場所
「みんなの株式」の魅力



投資に役立つ
情報や機能が満載

株に興味がある方や、株取引をしている方、株に関する情報など、人と知恵が集まる場所、それが「みんなの株式」です。

www.minkabu.jp
みんなかぶ 検索

今日の動き 10月3日(月)

Today's Market

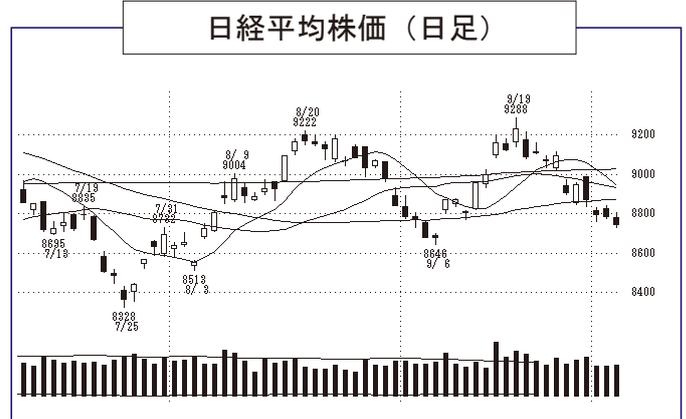
39円安 買い手控えて4日続落

3日の東京株式市場は日経平均株価が4日続落となり、8746円87銭(前日比39円18銭安)で引けた。

前日の欧米株式市場が下落したことを受けて、この日の東京株式市場では日経平均株価は4日続落して始まったものの、円相場の上昇一服や、前日までの3日間で160円超下落したことから値ごろ感も働き、次第に買いが優勢となって日経平均株価はプラスに転じた。米自動車販売の増加でトヨタが買われたほか、このところ売りに押されていたこともあって自動車株に見直し買いが入ったほか、「ユニクロ」の9月の既存店売上高が2.4%減にとどまったファーストリテが上昇したことも指数に好影響を与えた。

ただし、全体としては企業業績の減速懸念が根強く、前引け段階ではTOPIXは小幅ながら下落し、値上がり銘柄数より値下がり銘柄数のほうが多かった。

後場に入ると再びマイナス圏に転落。今週末にかけて4日の欧州中央銀行(ECB)理事会や5日の日銀金融政策決定会合、週末の9月の米雇用統計と重要イベントを控えて買いが手控えられたことも影響した。その後は



先物に断続的に売りが出て、下げ幅を広げる展開となった。なお、東証1部の売買代金は概算で9222億円と3日連続で1兆円割れ、売買高は13億9811万株だった。



主力株はまちまちで、トヨタ、ファーストリテ、ファナックが買われ、グリー、東芝、リコー、コマツ、スズキ、富士重がしっかり。半面、NTT、日産自、ディーエヌエー、ホンダ、三菱商が売られ、キヤノン、三井住友、三菱UFJ、KDDI、日立、NTTドコモも冴えない。

東証1部 騰落率ランキング (%)

<値上がり率>			<値下がり率>		
1	4344	ソースネクス 31.6	1	3808	C O K 16.8
2	9427	イーアクセス 21.7	2	7515	マルヨ 16.1
3	7599	ガリバー 10.3	3	6487	積水工 15.1
4	7873	アーケ 9.5	4	2338	M F a s t e p 14.3
5	5408	中山鋼 7.9	5	3645	M J M N C 11.9
6	8848	レオパレス21 7.4	6	8270	ユニー 11.1
7	1606	海洋掘削 6.0	7	7748	ホロン 10.8
8	1662	石油資源 5.3	8	3649	ピーエスシー 10.6
9	4045	東亜合 5.1	9	3825	M R E M I X 9.8
10	4064	カーバイド 5.0	10	3250	A D ワークス 9.7
11	1814	大末建 4.7	11	3440	Q日創プ 9.6
12	6455	モリタHD 4.6	12	5703	日軽金HD 9.1
13	6678	テクノメディ 4.5	13	3835	e B A S E 9.0
14	1926	ライト工 4.3	14	6068	P & P H D 8.9
14	6269	三井海洋 4.3	15	4842	U S E N 8.8

個人投資家・売買予想ランキング

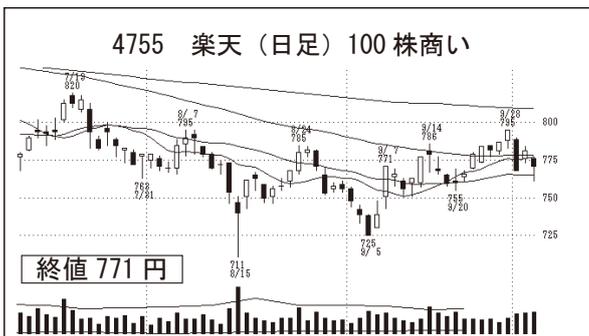
<買い予想数増加>		<売り予想数増加>			
1	9427	イーアクセス	1	4344	ソースネクスト
2	6758	ソニー	2	3632	グリー
3	4114	日触媒	3	4114	日触媒
4	9984	ソフトバンク	4	6753	シャープ
5	5912	日本橋梁	5	7203	トヨタ自
6	1662	石油資源	6	8306	三菱UFJ
7	3632	グリー	7	2503	麒麟HD
8	7733	オリンパス	8	3402	東レ
9	7201	日産自	9	9201	J A L
10	4911	資生堂	10	9843	ニトリHD
11	6703	O K I	11	3104	富士紡HD
12	6723	ルネサス	12	4726	ソフトバンク
13	2432	ディーエヌエー	13	6701	N E C
14	4100	戸田工	14	6723	ルネサス
15	4182	菱瓦斯化	15	6966	三井ハイテク

銘柄フラッシュ



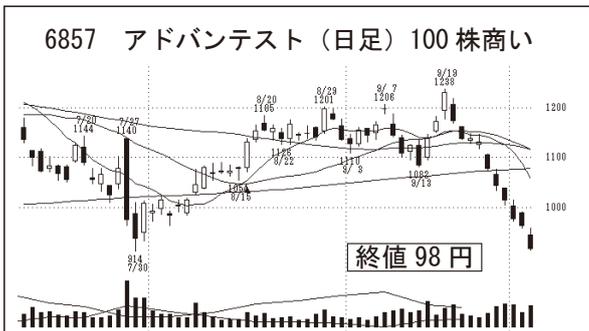
楽天、iPhone 5への「E dy」対応も目先売り

ジャスダック上場の楽天(4755)が反落。アップル社のiPhone 5に対応した電子マネー「E dy」の決済サービスを来年にも始める方向で検討していることが報じられたが、9月28日に795円まで上昇した後であることから目先の売りが継続している。iPhone対応の電子マネーとしては初のケースとなり、自社運営のサービス利用者を増やしたい目的ながら対応アプリの普及などで不安視する見方もあるようだ。

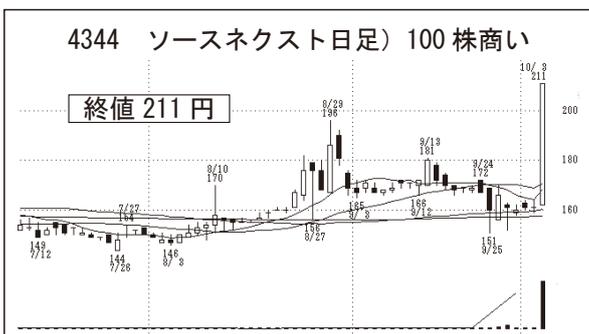


アドバンテは一段安、野村証が1172円目標に

アドバンテスト(6857)が後場に入って一段安。一時、前日比50円安の915円まで売込まれている。野村証券が2日付リポートで、投資判断「Buy(買い)」を継続しながらも目標株価を従来予想の1517円から1172円へ引き下げたことを嫌気している。レポートでは「足元の半導体製造装置市場の環境悪化を受けて、業績予想を下方修正する。メモリメーカーの投資停止、先端ロジックメーカーの設備投資計画の引き下げなどが見られているが、13年に向けても、韓国の手元メモリメーカーを始め、多くのデバイスメーカーが設備投資を抑制する方向」としている。



同じく投資判断「ニュートラル(中立)」を継続しながらも、目標株価を従来の3916円から3215円へ引き下げた東京エレクトロン(8035)は前日比120円安の3225円まで売られ年初来安値を更新した。



ソースネクストS高、スマホ対応新作ソフト材料視

ソースネクスト(4344)が急騰、前日比1円高の162円で寄り付いた後、ストップ高の211円まで買い進まれた。

小型株が個別に物色される流れが続くなか、2日に発表したスマホ対応の新作ソフトが材料視され、値の軽さが短期資金を呼び込んでいる。



Vコーマ新高値、スマホ向け注力で期待感

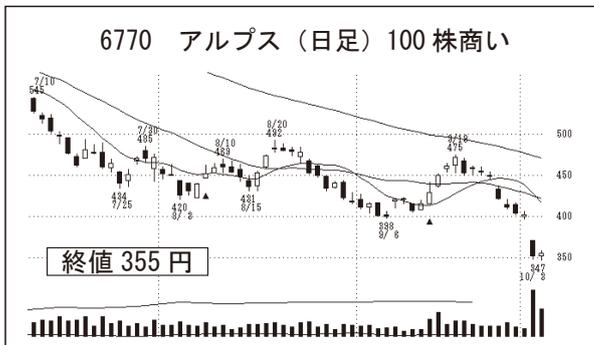
東証マザーズ上場のバリューコマース(2491)が続騰、一時、3万8600円まで買い進まれ新高値。東証1部指定変更を申請しており、1部指定接近への期待が高まっている。

アフィリエイト(成果報酬型)広告の大手で、近年ではスマートフォン分野に注力、先のiPhone 5販売でスマホユーザーが拡大するなかで同社ビジネスには追い風との期待もある。

銘柄フラッシュ



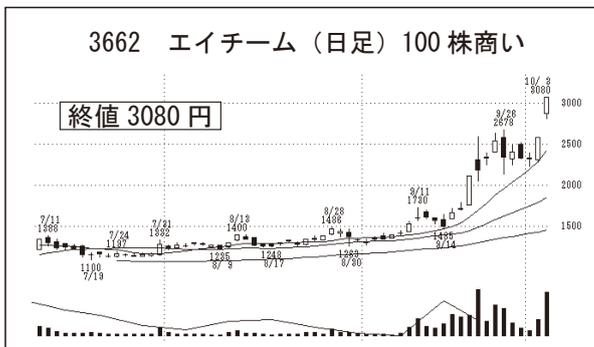
6770 アルプス (日足) 100株買い



アルプス、野村証が目標株価を320円に引き下げ

前日大幅安したアルプス電気(6770)は小動き。一時、前日比5円安の347円まで売られ新安値をつけたあとは前日終値を挟んでの動き。三菱UFJモルガン・スタンレー証券が2日付のレポートで、投資判断「ニュートラル(中立)」を継続しながらも、目標株価を従来の480円から320円に引き下げた。レポートでは、「10月1日発表の業績予想修正、および現在の同社の事業環境などを考慮し、業績予想を修正する」としている。

3662 エイチーム (日足) 100株買い



エイチームがS高、上昇率は19%超

東証マザーズ上場のエイチーム(3662)がストップ高となり、5営業日ぶりに新値をとってきた。値動きの軽さから直近IPO銘柄が個別に物色されるなか、ソーシャルゲームの急拡大による業績上ブレ期待を手掛かりに、個人投資家から根強い人気を集めている。分割考慮後の上場来高値を更新し、資金の回転が効いていることから、買い気がさらに強まっており、上昇率は19%を上回った。

日刊株式経済新聞創刊

進化した株式専門紙がここにある

『日刊株式経済新聞』は、独自の切り口で証券市場の「今」が読めるA4版電子新聞です。その日の株式相場の分析をはじめ、個別銘柄の変動の背景、市場の話題、そして注目銘柄まで

毎日夕方(土曜、日曜、祝日、年末年始を除く)にお伝えします。情報メディアの多様化に対応し、機動性と速報性を兼ね備えた、いままでにないまったく新しいタイプの株式専門紙です。

価格：月額1500円+税

様々なサービスを取り揃えております
※午後7時頃にアップ(予定)

株式会社みんかぶマガジン社

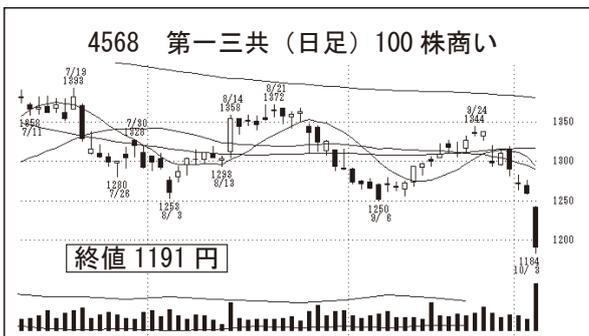


銘柄フラッシュ



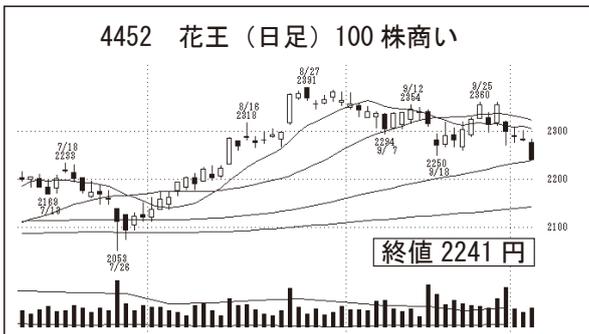
レンゴー新安値、評価損計上で業績下ブレ懸念

レンゴー (3941) が3日続落し、約1カ月ぶりに年初来安値を更新した。2日引け後に、9月中間期連結決算に46億1900万円の投資有価証券評価損を計上する必要が生じたと発表したことを嫌気。会社予想の今3月期純利益予想200億円 (前期比2.8倍) についても業績の下ブレ懸念が強まっている。



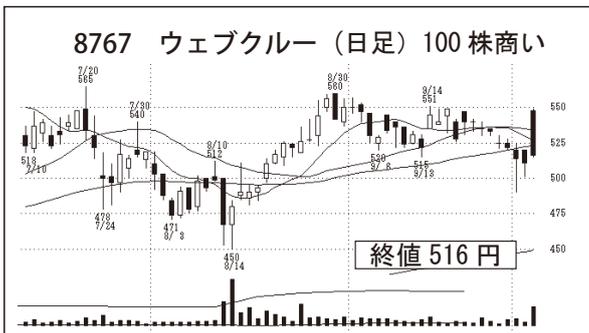
第一三共は大幅安、肺がん治療剤の第3相臨床試験中止

第一三共 (4568) が大幅安となり年初来安値を更新。一時、前日比75円安の1184円まで売り込まれた。同社は2日、米アーキュール社 (マサチューセッツ州) と共同開発中で、第3相臨床試験に入っていた肺がん治療剤「ARQ 197」の試験を、全生存期間の改善が得られなかったとして、中止すると発表した。



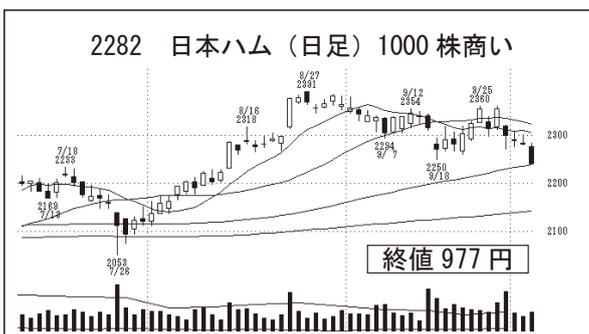
花王が続落、ヘンケル社との和解も上値重い

花王 (4452) が続落。3日、欧州を中心に日用雑貨を展開するヘンケルグループとドイツ及び日本での知的財産侵害訴訟に関して9月28日付で和解が成立したことを発表。ヘンケル社の泡状ヘアカラー商品が花王の保有する知的財産権を侵害するという訴訟内容だったが、通常ライセンス供与を条件に和解が成立した。ただ、株価は第2四半期累計のネガティブ報道により上値の重い展開が続いている。



ウェブクルー上げ幅縮小、SBIグループと提携

東証マザーズ上場のウェブクルー (8767) は寄り直後に前日比38円高の549円をつけたが、後場上げ幅を縮小した。2日取引終了後にSBIグループとの資本・業務提携を発表したことから、インターネット金融ビジネスにおけるポータルサイト事業の拡大に期待が高まった。ウェブクルーはSBIが保有するSBI損害保険株式19.9%を取得、SBIは16億2000万円を上限にウェブクルーの株式を発行済み株式総数の10%を超えない範囲で取得する。



日ハム、SMB C日興証が1580円目標に

日本ハム (2282) は、前日終値978円を挟んでの小幅な値動きとなっている。SMB C日興証券が2日付のレポートで「日ハムの業績予想を見直し、カバレッジ食品銘柄の平均株価の上昇を目標株価算出モデルに反映させた結果、今後6~12カ月の目標株価を1380円から1580円へ引き上げた。12年6月ごろからの穀物市況高騰を受けて、世界的に飼料コストが増加し始めている。飼料コスト増が豚肉市況を押し上げることは日本ハムにはメリット」としている。

明日の見通し

Tomorrow's Market

株経予想
明日の相場



買い手控え継続の様相

下値模索の展開に

3日の東京株式市場は、日経平均株価が4日続落。終値は、前日比39円安の8746円となり、9月6日(8680円)以来、約1カ月ぶりの安値水準となった。

日足の一目均衡表で、終値が下値サポートとなっていた「雲」と呼ばれる抵抗帯の下限(8775円)を下回ったことで、下値模索の可能性が高まっている。

4日は、5日までの予定で日銀金融政策決定会合が開催される。前回、追加的金融緩和を実施しただけに今回は、「現状維持」となりそうだ。また、ECB(欧州中央銀行)理事会(4日)、を控えていることもあり、売り買いともに手控え姿勢が継続しそうだ。

4日続落の後だけに自律反発への期待感から一部に

打診買いの動きが想定されるものの、買い物薄の地合いの中で小口の売りで値を消す銘柄が目立ちそう。日経平均株は小幅続落と予想する。

◇
なお、4日は毎年恒例の「投資の日」が日本証券業協会主催で、東京国際フォーラムなどの会場で開催される。



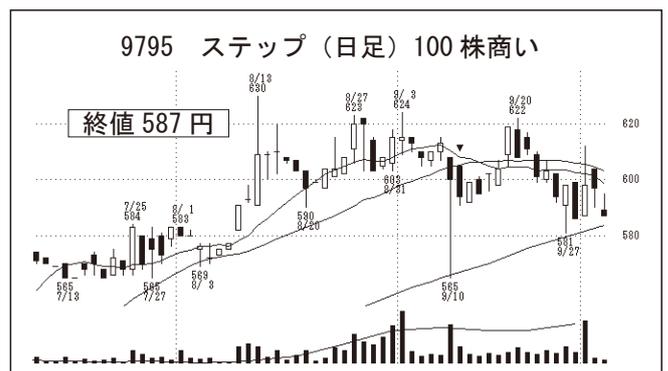
★大引け後情報

◆イズミ(8273)が3日引け後に自社株買い、今2月期連結経常利益の上方修正、配当の引き上げを発表した。自社株買いは上限400万株(発行済み株式数の5.0%に相当)で取得期間は12月28日まで。また、今2月期連結業績見通しは、連結売上高を従来予想の5360億円から5336億円(前期比3.4%増)に減額したが、経常利益を同267億円から272億円(前期比15.6%増)に増額。スーパーなど小売事業は販売競争の激化で従来予想を下回るものの、人件費抑制をはじめとするコスト削減が寄与し、利益は増額となるもの。また、今期配当は従来予定の年24円から年36円(前期は年20円)に引き上げる。

◆東証2部上場のステップ(9795)が3日、公募増資を発表した。公募に伴う193万株と追加売り出し27万株で、約11億6000万円を調達する。調達資金は、校舎用不動産の取得資金などに充てる。同時に26日に東証1部へ指定変更となる。

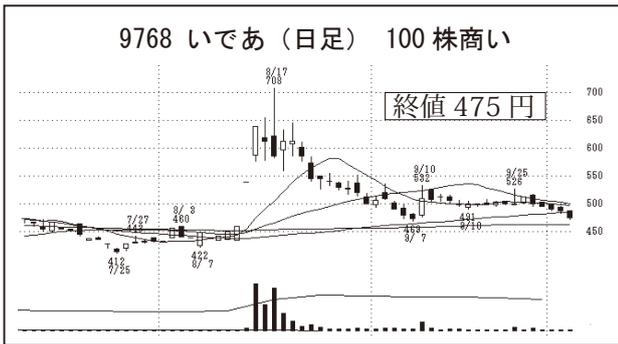
★明日のスケジュール(2日)

- ・日銀金融政策決定会合(～5日)
- ・10年国債入札
- ・欧州中央銀行(ECB)理事会
- ・英国中央銀行(BOE)金融政策委員会(20:00)
- ・スペイン国債入札
- ・米8月製造業受注(23:00)
- ・米9月FOMC議事録(5日午前3時)



本紙厳選

注目の2銘柄



いであ

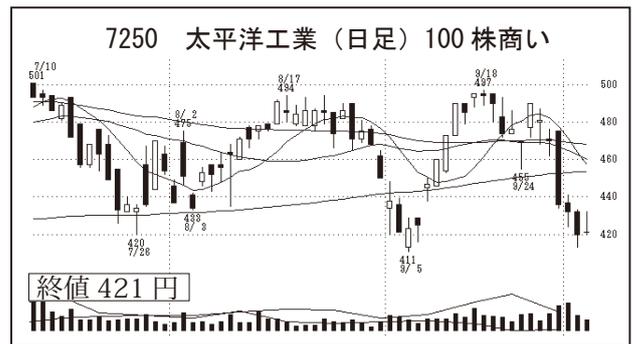
ジャスダック上場の、いであ(9768)は、増額修正を好感して8月17日には708円の高値を更新。その後は利食い売り継続から軟調な動きが継続し、500円台固め推移が継続している。同社は環境調査や分析

と建設コンサルタントを手掛ける。震災復興に絡み放射線物質の調査や除染計画策定などの受注が殺到しており、第2四半期(1~6月)で連結営業利益は15億9200万円(前期比2.7倍)と大幅な増益を達成。通期予想の

営業利益4億5000万円(前期4億1200万円(赤字))の予想を変更しておらず、今後大幅な増額修正となる期待が強い。PER8倍台、PBRO・3倍台と割安水準。上値余地は十分といえそうだ。

PBR0.3倍台評価
500円台固めから反発へ

(那)



太平洋工

通期業績は上方修正へ

PER7倍台と割安水準

太平洋工業(7250)の押し目に注目。同社は、タイヤバルブとバルブコアで世界トップクラスを誇る企業。足元は、エコカーの販売が好調な自動車メーカーの生産増に支えられて同社の受注も増勢。13年3月期は第1四

半年期決算で連結営業利益は13億6300万円(前年同期2億6300万円赤字)と黒字転換を達成。進捗状況を考慮すれば通期予想の38億円(前期比2.7%増)は増額修正が濃厚。欧州では今秋から装着義務づけとなるタ

イヤ空気圧監視システムに対応し、ベルギーに現地法人を設立。株価は、先週から下げ足を速めていたが反発の兆しを見せている。PER7倍台と割安水準にある。貸借倍率0.80倍と需給面からも妙味。(孟)

私の相場観

SMBCフレンド証券・投資情報部部長 中西 文行氏

新興銘柄に物色の矛先

Eガーディアン、ガンホー注目



尖閣諸島を巡る中国との対立深刻化、解散総選挙含みの国会、欧州債務問題懸念。さらに11月6日の米大統領選挙、11月8日からの中国共産党大会など内外で不透明要因が山積している中で、主力大型株への見送りムードは継続しそうだ。したがって、物色は、時価総額500億円以下といったような新興市場を中心とした銘柄に向かいそうだ。

10月後半から本格化する

3月期決算企業の第2四半期累計決算は、輸出関連企業を中心に慎重な下期見通しに伴う、通期業績予想の下方修正が相次ぐ懸念がある。こうした業績面での不安感が払拭しきれない中で、積極的な継続買いは期待できそうもない。

当面の日経平均株価は、3日終値(8746円)水準から上下に250円幅ずつの変動を見込み、8500〜9000円のレンジと予想する。

個別銘柄では、新興市場上場のスマートフォン関連であるイー・ガーディアン(6050)、ガンホー・オンライン・エンターテインメント(3765)などに注目している。

石油資源、国内初の採取成功

シェールオイル

話題の焦点

関連銘柄を追う

最大で1億バレルの生産も

石油資源開発(1662)は3日、秋田県由利本荘市の鮎川油ガス田の地下約1800mから、岩盤に含まれる原油「シェールオイル」の試験採取に成功したと発表した。

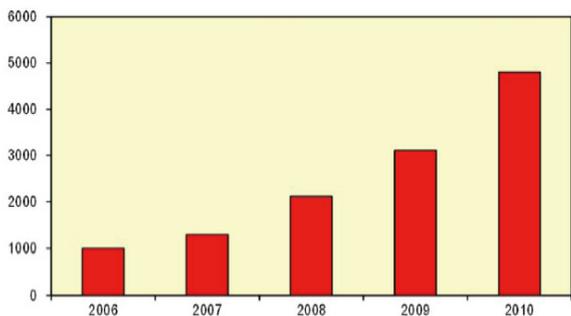
鮎川油ガス田周辺のシェールオイル埋蔵量は、約500万バレルと推定されている。シェールオイルは北米で既に本格的な生産が始まっているが、日本では採算性の問題もあつて着手されていなかった。

世界各国で開発が加速しているシェールオイルだが、日本国内での開発は初めて。これまで存在は



資源大国へ動き出した

米国のシェールガス生産量



出所: EIA

確認されながら採掘は難しいとされてきたが、技術の進歩で採算性が見込めると判断した。周辺を含め最大で1億バレルの石油生産も見込めるといい、エネルギー確保に大いに役立つことになる。

◎国際石油開発帝石(1605) 西豪州沖合鉱区権益の50%を米石油会社から取得。

◎日揮(1963) 石油関連プラント大手。期初受注残1.4兆円と過去最大。

◎石井鉄工所(6362) 東南ア、中国、台湾でLPG、アンモニアなどの新設案件獲得。

◎トーヨーカネツ(6369) 国内製油所の耐震改修工事も続き、工事量で採算低下補う。

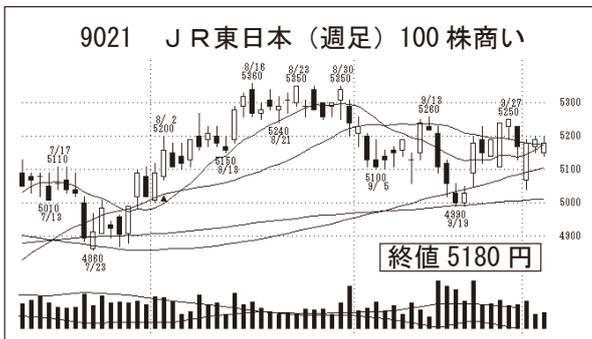
本格利用に動き出す 回生電力

猛暑の夏を越えて、再び節電の冬
 へ——電力需給が不安定な状況が続
 くなか、太陽光発電装置の設置など
 再生可能エネルギーの早期普及が待
 たれる状況にある。更にこれら再生
 エネルギーと共に、ここにかけて急速
 に関心が高まっているのが回生電力
 の利用だ。



ブレーキをかけた際に発生する電力を利用

ク ローズ ア ッ プ



電鉄各社動き出す

回生電力は機器で生じる余剰なエネルギーを回収して利用するものだが、その主流はモーターによる電力回生が主流となっている。通常はモーターに電気を流せばモーターが回転するが、その逆にモーターの回転軸を回すと、モーターで電気が発生することから、そ

の電気を蓄電して利用するのが回生電力となる。

この回生電力に関して
 は電車や自動車、エレベーターなどモーターを利用する機器ですべて回生電力を取り出すことが可能だが、特に目的的に利用が進みそうなのがピーク時の電力供給不足を想定して、緊急時に間引き運転を想定しているJRや私鉄各社での電車での利用だ。電車がブレーキをかけた際に発生する回生電力を蓄電して利用するもので、ここへ来てはJR東日本(9020)やJR西日本(9021)、大阪市交通局(地下鉄)など都市部に路線を有する電鉄各社が早期の普及に向けて動きだしている。

【次の面に続く】

試験運用にGSユアサ参加

富士電機は回生電力吸収装置

JR西は早期導入に意欲的

大幅な電力削減にも

この試験運用にはGSユアサ(6674)が参加しており、今回の実証試験を通じて蓄電・放電効率を高めて装置の製造コストを4割程度削減させる方針で、蓄電装置が設置された区間では年間で3%の電力を削減させることが可能。加古川—西明石駅間での導入を検討しており、これが全路

線に拡げれば大幅な電力削減が可能になる。

JR東日本ではこの回生電力に太陽光発電を併用させることを検討しており、再生可能エネルギーとの併用が進めば既存の電力使用を極力減らせることになるだろう。この回生電力を吸収させる装置では富士電機(6504)が先行、GTOサイリスタを用いた抵抗チョッパによる回生

電力吸収装置を開発し、国内で初めて実用化、スペースなどことから、特地上設備側で回生処理対策が講じられていない路線での設置も可能にしており低コストでの回生電力の利用に貢献している。

電車以外でも

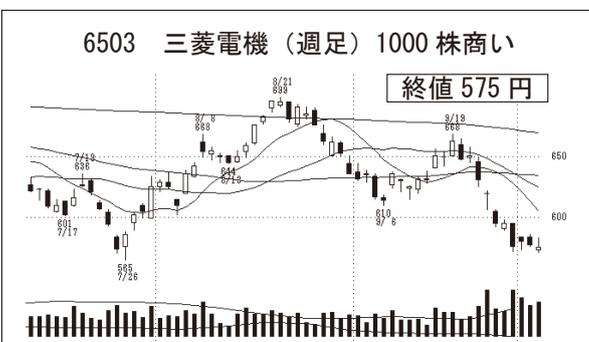
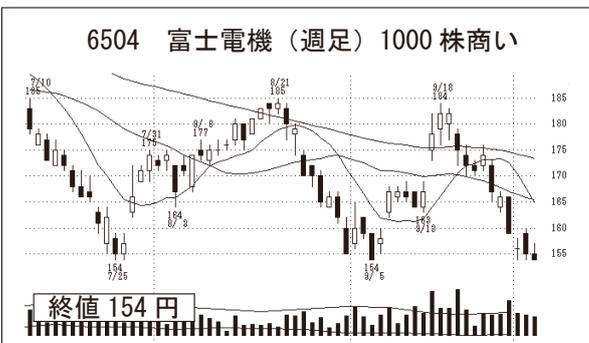
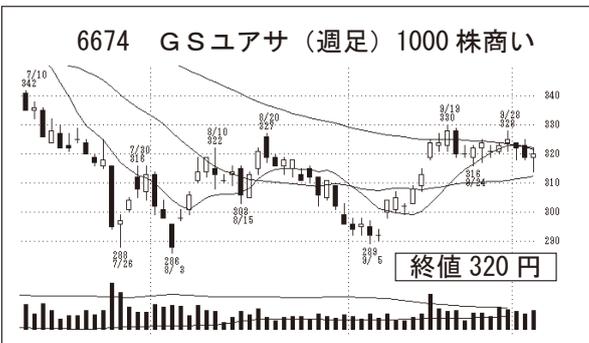
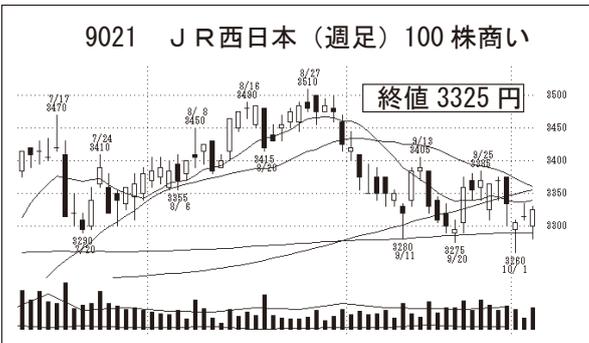
電車以外では三菱電機(6503)がエレベーター走行時の回生電力を蓄電し、走行時に再



JR西日本は導入に積極的だ(写真はJR大阪駅)

利用することでエレベーターの更なる省エネを実現

現する回生電力蓄電システム「エレチャージ」を



◇ 昨年10月に発売。標準形エレベーターの蓄電デバイスに業界で初めて電気二重層キャパシタを採用しており、消費電力量を従来比で約25%削減することを可能にしている。

日本で最も投資家が集まる場所
「みんなの株式」の魅力



投資に役立つ 情報や機能が満載

株に興味がある方や、株取引をしている方、株に関する情報など、人と知恵が集まる場所、それが「みんなの株式」です。



① 個人投資家の株価予想

「みんなの株式」では28万人を超える個人投資家が株価予想を投稿しています。特定銘柄に対する予想精度や予想している人の数などから、今の投資家が、その銘柄について「買い」と思っているのか、「売り」と思っているのかを知ることができます。また、「みんなかぶポートフォリオ」では、みんなの意見として何が今「買い」の銘柄か、「売り」の銘柄かが一目瞭然です。

② リアルタイム

マーケットニュースから、企業が発表する適時開示情報、新規上場スケジュール、全世界の経済指標の発表まで、株式投資において重要な情報がリアルタイムに配信されています。

③ 株価情報

上場銘柄の株価を名前でも証券コードでもどちらでも検索できます。また、それぞれの銘柄情報には証券アナリストのノウハウを基に開発された「株価診断」により現在の株価が割安か、割高が分かりやすく解説されています。

④ 銘柄ランキング

騰落率・出来高・時価総額・株価収益率・株価純資産倍率・配当利回り・売買予想投稿数・従業員数・平均年収や年齢・上場年月日・設立年月日など、様々な項目で銘柄のランキング情報が確認できます。

⑤ スクリーニング

チャート形状、業績、株価の動きから銘柄を抽出できます。

⑥ 記事コラム

社長インタビュー、証券アナリストや株式評論家の最新レポート、読者アンケートの募集や結果発表など読み物も充実しています。

みんなかぶ Shop

投資に役立つ書籍や分析ツールを簡単に購入できます。

会員登録(無料)

会員登録をすれば、他の投資家との意見交換が可能となります。株価予想の投稿を通じた銘柄に関する意見の共有から、メッセージを利用した他の投資家との直接のやり取りまで、仲間を増やして楽しい株式投資ライフを実現しましょう。

それ以外にも!

「みんなの外為」「みんなのCFD」「みんなのコモディティ」など、株式以外の金融商品の情報も見ることができます。

www.minkabu.jp

みんなかぶ

検索